

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・世界の情勢から見ても、通常の生活が戻ってきているので、予約数も増えていくと思っている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の全数把握停止、また、全国旅行支援、県独自の飲食等向けの支援チケット販売と、業種的に非常にプラス要因がある。現在では、逆に予約が先に流れる傾向もあるが、それ以上に予約や問合せの増加により、好調に推移する予測が立っている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今月も葬儀を行った人からの紹介や、紹介の紹介での依頼がたくさんあり、有り難いことである。この流れは止まらない。
	○	商店街（代表者）	・10月から全国旅行支援が開始となるため、期待ができる。
	○	百貨店（店長）	・勢いがあるとは思えないが、前年実績を確保するようになってきている。行動制限等が解除されれば、今より上向くのではないかと。
	○	スーパー（経営者）	・4回目のワクチン接種案内も届いている。民間のイベントは増えてきたが、地域のイベントは多少増えたものの、当地区でも、夏祭り、盆踊り、秋祭り、敬老会と全てが中止され、神事のみという状態である。地域の行事が当たり前のように開催されるようになれば、経済も回復する。
	○	コンビニ（経営者）	・小売業は、やはり新型コロナウイルス感染症が落ち着かないと駄目である。これから寒い季節に向かっているが、10月は天候が良いと思われるので、販売が上向いてくるかと期待している。
	○	乗用車販売店（経営者）	・感染状況の落ち着きが前提だが、堅調な新車受注は続いており、新車売上や納車が進むことで、中古車販売、サービス在庫も増加に転じると予想している。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症も徐々に落ち着いてきており、自動車生産の正常化に伴い、来客数が戻ってくるものとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・年末に向けて、新型コロナウイルスの感染第8波が気になる。新型コロナウイルス感染症が現状のままであれば回復は見込めると思うが、現在は全ての物の値上がりによる影響が大きいようである。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第7波が収まり、第8波が予想されても影響は少ないと思われる。
	○	スナック（経営者）	・2年前に撤退した大型店の跡地に新店舗が入り営業を始めたので、しばらくは良くなる。新型コロナウイルスの感染状況次第なので不安はあるが、新しいワクチンの接種も始まったので、今度こそ終息に向かってほしいと思っている。
	○	観光型旅館（経営者）	・10月以降の観光誘客政策がはっきりしていないものの、週末を中心に秋の予約が動いている。今後、何らかの観光支援が実施される模様で、10月後半～11月にかけては新型コロナウイルス感染症の発生前に近い状況まで忙しくなりそうである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・10月11日から全国旅行支援が開始する。また、海外からの入国者数の上限も撤廃される。今月は、外国人旅行者は2件ほどだったが、10月以降、特に、11日以降のインバウンド客の予約が入ってきている。確実に上向きになってくる。
	○	旅行代理店（副支店長）	・景気喚起策である全国旅行支援が順調に開始となれば、更に動きが加速される。しかし、飽くまで個人レベルの状況で、企業の人手不足や為替の影響により、団体やグループ旅行の回復はまだ先だと考えている。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症の落ち着き次第だと思ふ。7月までは雇用調整助成金をもらうために、従業員を休ませていたが、8月からは休ませず、新型コロナウイルス感染症の発生前と同じような出勤に変えている。そうしたことから、売上が上がっているとも考えられる。	
○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるものの、感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。	

□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・値上がりをどこまで我慢していけるか、自治体等の施策がどう出るのか次第だと思う。プレミアム付商品券等が発売がされている自治体も出てきているが、何に使うか使用目的は決めていなくても買っておいた方が得だと思っているようで、最大限の予約をしている人が多く、予約が殺到している。商品券でも何でも構わないので、商材の動きに期待したい。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・世の中の値上げムードが、今後、客の動きにどのように影響するか心配である。
□	百貨店（経理担当）	・秋のいろいろな物の値上げが、どのように消費者に影響するのが不安で、良くなるようには感じられない。
□	コンビニ（経営者）	・3か月後は冬場に入るので、売上はそれほど伸びないと思っている。ただし、前年よりも現状の景気は少し上がっているから、これからは良くなる。
□	コンビニ（経営者）	・電気料金や燃料費が安くなると、景気回復は見込めない。
□	コンビニ（店長）	・コンビニで扱う商材は、日常利用する物が多いので、大きく値上げ等があっても、必要な物は買っていく状況だと思っていたが、うまく回っていない。来客数もかなり減っている。買上点数はまだ何とかなっているが、大分厳しい状況が続いていき、先行きの悪い状況は変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・期待できない。
□	スナック（経営者）	・悪いまま変わらない。新型コロナウイルス感染症や世間のいろいろなスキャンダルもあって、ほとんどが駄目だと悲観的になっている。何とか良い方法をお願いしたい。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の対応が、段々緩和されてきて、これから随分とまた良くなってくると思うが、肝心な客を迎え入れるためのスタッフが、新型コロナウイルスの感染拡大中に大分辞めてしまっていて、いざ客が戻ってきたとしても、なかなか対応するのが難しい状況に今はある。まずそこから立て直していかないといけないので、まだ先は長い。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・半月先までの宿泊予約数を見ても、余り変わりがないようである。
□	通信会社（社員）	・特段、強調材料はない。引き続き、メディアや広告、キャンペーン等を絡ませながら、販促活動を続けていく。
□	ゴルフ場（経営者）	・地元行政の秋のスポーツイベントに協力している。屋外スポーツの実施予定は、健康ウォーク、グランドゴルフ、市町村別のゴルフ大会等、数多く入ってきている。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・観光地にあるが、外国人観光客が来ていないことや原油高騰がいまだに続いており、かなり厳しい状況である。政府に対応してもらいたいと常々感じている。
□	設計事務所（職員）	・数か月先まで依頼が多くなっており、しばらくは1人で数件の物件を抱える状況が続く。
□	住宅販売会社（経営者）	・コロナ禍による一時的な別荘需要は一巡し、需要は低下傾向にある。
▲	商店街（代表者）	・物販店がなくなり、飲食店中心の街になってしまうのかとも考えられる。
▲	商店街（代表者）	・皆の給料が上がっていると報道等では言われている。当店は中心商店街にあるが、郊外の大型店にほとんどの客を取られて、昔は中心地だったのと思わせるほど閑散としている。人が本当に出なくなってしまう、これからどうしたらよいか、実は考えている。
▲	百貨店（営業担当）	・10月から日用品や食料品を含めて、立て続けに値上げがある。また、エネルギー価格、電気やガス料金等も上昇予定ということなので、消費にはやや慎重さが増してくるのではないかと。
▲	スーパー（経営者）	・これから価格上昇の秋の陣で、消費減退の可能性がある。
▲	コンビニ（経営者）	・物価上昇に伴い、商材全体で値上げとなっており、買上点数は下がるのではないかと。賃金が上がったとしても、それほど売上に影響するとは思えない。物価高に慣れるまでもう少し時間が掛かる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・毎日のように値上げが行われており、各個人の経費が増えているからである。

	▲	観光名所（職員）	・原材料や燃料価格の大幅な値上げにより、販売価格の見直しや実質値上げを行うが、適正価格に改定したところで、まだまだ薄利である。さらなる経済再生施策を切に願っている。
	▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響だけでなく、今年はインフルエンザの流行も心配である。その他にも、物価や光熱費の上昇が気掛かりである。サービス業にとって、良い材料が見つからない。
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	・仕入単価等が上がり、客の買い控え等もあるので、売上、来客数は減っている。当店以外でも物価が上がっているの、客の感覚からして、非常に苦しい。給与や収入自体はずっと増えていないなかで、支払だけが aumentando。
	×	衣料品専門店（経営者）	・これから寒くなっていくので、なおさら燃料費の高騰が心配である。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・10月以降は非常に厳しくなる。様々な物の価格が上昇しており、取引先の飲食店やホテルに影響があるのではないかと。個人客も、酒以外の物価、燃料等、生活全般の必需品の値段が上がっているの、当店の扱う酒は厳しい状況が続く。9月は駆け込み需要があったので、余計に10月は厳しい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足の影響で好調である。
	○	食料品製造業（営業統括）	・政府が1日当たりの海外からの入国者数の上限を変更した効果と、円安の後押しもあり、外国人観光客の増加が見込まれる。今まで厳しい経営が続いていたワイナリーにとっては、回復が期待できる。
	□	食料品製造業（総務担当）	・物価高騰に景気が左右される。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・主要取引先の店頭販売等には、今後の新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和によるインバウンド需要に期待感はある。ただし、当店のワークショップ予約数などは依然として少なく、予想が立たない状態である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・円安による資材購入費高騰が販売価格改定の範囲を超えており、業績改善につながらない。また、単籠り需要が一巡して販売量が伸び悩んでいる。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・生産の動きはありそうだが、電子部品の入荷が悪いことに加え、動力費、光熱費、資材価格の高騰等もあり、安定するまでには時間が掛かりそうである。
	□	建設業（経営者）	・今後は資材の納入遅延や物価上昇、特に、人手不足が心配である。
	□	金融業（調査担当）	・製造業では海外の需要減少が懸念される一方、観光関連は全国旅行支援の開始や行動制限が解除されることから、国内やインバウンドの需要増加が期待される。
	□	金融業（経営企画担当）	・10月より、全国旅行支援の開始や海外からの入国に関して空港での規制緩和等、世界から多くの観光客が入国することが期待され、観光業は恩恵を受けるのではないかと。しかし、物価上昇で、消費者の財布のひもが締まる状況に向かっていくことが予想され、景気自体は変わらない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着き、経済対策による一定の効果は出る。しかし、燃料高、円安がすぐに好転するとは思えず、物価上昇が今後も続き、消費低迷が考えられる。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・部品の納期遅延や原材料価格の高騰等が続いており、営業担当の受注に支障が出ている。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・商材が売れても、金やダイヤモンドの材料費高騰で、新しく作る宝飾品の価格は1月以前と比べて30%以上割高になっているため、定番商材の利益率が大幅に低下している。
	×	食料品製造業（製造担当）	・更なる原料単価の値上げの話が先日あった。とりわけ6月からの交渉で、10月からの値上げの話がようやくまとまり、その実施直前での更なる値上げで、再度、商材単価を上げせざるを得ない。いつまで、いたちごっこが続くか、精神的に不安になる。ただ、値上げをして、どこまで売れるのかも分からない。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず、毎月の資金繰りが大変である。
×	建設業（経営者）	・製品の値上げが続く。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	求人情報製作会社（総務担当）	・世の中が動き出しているため、必ず良くなると思う。

□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減っているが、物価高騰や国際情勢の動向で、この先も不透明な部分があるため、変わらない。
□	職業安定所（職員）	・経済動向の不透明感は今後も続くと思われ、急速な回復は期待できない。
□	職業安定所（職員）	・宿泊業やサービス業は回復の兆しを見せてはいるものの、行楽シーズンが過ぎると観光客は減ってしまうため、現状維持は厳しい。また、製造業は依然として半導体不足や原材料費の高騰が継続しており、急激な回復は見込めない。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和が進み、求人は増加傾向にある。ただし、顕著に増加しているのはパート求人で、企業の先行き不透明感の現れが感じられる。また、物価高騰の雇用に対する影響も懸念される。
□	民間職業紹介機関（経営者）	・円安不安、契約やアルバイト、派遣等の求人増の現状が、年内は続く見込みだが、求人若干の陰りが見え始めている。
▲	—	—
×	人材派遣会社（営業担当）	・食料品の値上がりも続いており、買い控えはしばらく続くだろうし、国の政策等も非常に悪い。